



自治会だより

2018
秋号

自治会創立30周年スローガン

～世代超え 気持ち繋がる ふるさとへ～

自治会創立30周年に想う

自治会会長 浅井 嘉一



● 記念誌

平成元年（1989）から
平成30年（2018）
A4版41頁カラー印刷

出版にご理解、快く執筆して頂いた多くの皆様に感謝申し上げます。新旧写真や自治会の歩み、数字に見る姿など、貴重な記録です。ふるさとを想う30代の方々、大きな節目で常にリードしていただいた先輩の手記、白岡ニュータウンの記録は、そのまま地域の重要な資料として、このたび新装の市立図書館に収蔵が決定しました。内外の多くの市民の目に触れるとき、私たちの気持ちは必ず後世に引き継がれることでしょう。



小島市長祝辞

● 記念式典

5月20日開催

会場：白岡東小学校

式典は市長始め市議、行政区長、歴代自治会長の各位にご臨席いただきました。詰めかけた皆様およそ300人。式典前のアトラクションでは30周年の変遷を映像やハンドベルの演奏、スクリーンに映し出された開

発中の景色、過去と現在の対比で見事な住宅街に変貌しました。その姿を知る方々に記憶が甦り、当時高校生だったという主婦は「胸に熱いものを感じました」と嬉しい後日談。

ご来賓からの祝辞、ニュータウンの発展にご尽力していただいた団体に感謝状が贈られました。記念講演は、宇宙関連に従事している篠津中卒業生に「新白岡より宇宙へ」と題する有意義なお話。

結びは篠津中学校50名の吹奏楽演奏「さくらのうた」「銀河鉄道99」など力強い演奏をご披露いただき、30周年事業に相応しい催しとなりました。各位のご努力、ご出席に感謝申し上げます。



記念式典



ハンドベル演奏「ティンカーベルしらおか」



吹奏楽「篠津中学校」



感謝状「花と緑の会」



感謝状「新白岡悠友会」



感謝状「ニュータウンアカデミー」



感謝状「自主防災会」



ニュータウン今昔写真展



記念講演「新白岡から宇宙へ」



せだい こえ
世代超え

きもち つながる
気持ち繋がる

ふるさとへ
ふるさとへ

白岡ニュータウンから望む富士山と東北新幹線



白岡ニュータウン自治会 創立30周年記念

ふるさと祭り

30周年 限定

日時 11月11日(日) 午前10時～午後2時30分

会場 白岡東小学校 体育館および校庭

イベント

※天候その他の都合で変更することがあります

体育館

落語

日本舞踊

フラダンス

《ニュータウンストーリー》
街・鉄道の写真等

校庭

屋台・縁日ゾーン

高岩
囃子連

はばたけ！こどもたち
～児童・生徒たち登場～

ふれあい動物広場
協力: 東武動物公園

よさこい その他
ソーラン 音楽コンサート



Challenge!

《世代超え 気持ちつながる クイズ DE DON!》 ジャンボO×クイズ

スタンプラリー

抽選で 賞品Get!



ミニ新幹線 《ニュータウン未来号》

協力: JR東日本 大宮総合車両センター

※夏祭り盆踊り大会・青空市、今年はお休みします
今までにない抽選会をお楽しみに!

●安全確保のため ご協力をお願いします

- * ペットを連れての来場はご遠慮ください
- * 係員の指示に従ってください
- * 自動車の駐車はできません 徒歩・自転車等でご来場ください
- * 未就学児童のミニ新幹線の乗車は保護者同伴です
- * 体育館内は飲食禁止・上履きをご持参ください
- * 学校内は全面禁煙です

タイムカプセル<未来へのメッセージ>

書いてみませんか

夢、希望、未来予想図etc.
10年後のあなたへの手紙



白岡ニュータウン自治会
30周年記念事業実行委員会

30周年記念事業 [ふるさと祭り] のお知らせ

30周年記念事業

「ふるさと祭り」のお知らせ

事業部長 山田 健一

30周年をお祝いする事業の集大成として企画した「ふるさと祭り」は、11月11日(日)白岡東小学校体育館及び校庭にて開催します。

お年寄りからお子さんまで楽しんでいただけるような色々な企画を用意しました。

体育館内では、オーブニングセレモニーを行い、フラダンス、日本舞踊、ハーモニカ演奏、落語等を予定しています。

校庭では、ご近所の高岩駒形自治会有志の方々のご指導をいただき、「焼きそば」、「フランクフルト」、悠友会による「芋煮」コーナーを開店します。特設舞台では、高岩お囃子、よさこいソーラン、ギター演

奏、ヒップホップダンスやY・Sコルセイユの演奏が行われます。

スタッフが知恵を絞った企画、ミニ新幹線の乗車、動物とのふれあい、スタンプラリー、〇×クイズ、メッセージをお預かりするタイムカプセル等々、今までにない催しをたくさん用意しています。

お楽しみスピードくじは当選数を例年より多くします。

今年、例年12月開催の「青空市」はありません。代わりに高岩イヤーズによるフリーマーケット、有志による季節の野菜、花と緑の会による花の販売などを「まつり会場」で同時に行います。

これら「ふるさと祭り」の

企画は、皆さんのご提案やご意見とともに、近隣自治会や企業、商店のご支援、行政の補助など多くの方々のご理解とご協力で成り立っています。

是非皆さんに参加していただき、楽しいイベントにしたいと思っています。掲げた30周年のスローガン、文字通り「世代を超えて・・・」未来に繋げようではありませんか！お誘い合わせの上ご来場を心からお待ちしております。



「つつじ公園」

造成中

一丁目「つつじ公園」が新しく生まれ変わります。駒形地区とリフレ側共通の広場として活用される予定です。子どもたちには勿論、地域の皆様に愛される大切な広場、憩いの場所にしたいたいと思います。完成時には、30周年に因んだ催しとして駒形地区共々セレモニーを検討しているところです。



つつじ公園

認知症サポーター養成講座 ～認知症高齢者の声掛け訓練～

認知症サポーター養成講座

認知症高齢者の声掛け訓練

総務部長 半沢 茂

7月14日(土)ノースプラザに於いて、参加者22名、久喜警察署生活安全課・地域包括支援センター・ボランティア劇団ダイスケ・スタッフなど総勢42名で行われました。

警察署の馬場さんから「認知症高齢者発見時の対応と手続き」の中で行方不明及び保護事案の状況と対応、警察官への引き渡し方、日頃の心がけ、認知症高齢者の家族から「いなくなってしまう」と連絡を受けた時の対応例などの講話がありました。

特に発見時の対応では「驚かせない、急がせない、自尊心を傷つけない」そして大人数で対応しない、穏やかにゆっくりと声掛けし、又相手の言

葉に耳を傾けること。これを踏まえて、声掛け練習をしました。

ケース①顔見知りの近所の認知症の方へ、ケース②まったく顔を知らない認知症の方への事例。

声掛けは会話なので、テンポよく、リズムカルに、話の「間」の取り方、相手との距離感、そして声の調子に気を付けてやさしくなどのアドバイスがありました。

参加者からは「具体的な声掛けを見せてもらえて考えさせられ、勉強になりました。」「認知症の方に声をかけるということの難しさを感じました。」などの声も聞かれました。今後、認知症の方の把握や

安心して歩ける地域づくり、そして地域が支える街づくりなどが出来ればと思いました。



声かけ寸劇

「わが街防犯セミナー」に参加して

保安部副部長 岩崎 明正

9月7日(金)羽生市で開かれた広域セミナーに参加しました。近年の犯罪や防犯対策の講話を聞き、認識を新たにしました。高い生垣周辺、狭い通路や草木の生い茂った空き地などにも要注意です。

下校時、一人になる通路などには特に気配りが求められます。各地の活動報告もあり、わが保安部も諸々反映させたいと実感しました。



防犯具体例寸劇

一丁目カフェ OPEN!

一丁目カフェ

OPEN!

たまり場づくり有志



ご近所には誰でも気軽に集える場所がなく、井戸端会議などで「あるといいねエ」の
声。

7月25日、武蔵野銀行向かい、前西武建設事務所にて一日限定カフェがオープン!

ことし1月に次ぐ催しに200人余りの皆さんにお立ち寄りいただきました。憩いと団欒のカフェには、主婦たち手作り作品や打ち立て蕎麦、農家の皆さんが季節の野菜を提供してくれました。それぞれ飛ぶように売れ、特に野菜など開始から30分余りで完売する人気でした。

午後は懐かしいメロディーにのせてみんなで歌いました。近くの施設より駆けつけて



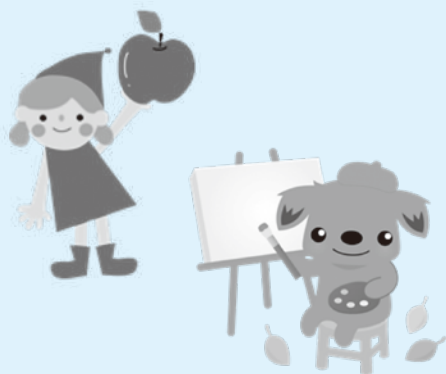
くれた皆さん共々、有意義なひと時でした。お立ち寄りいただいた方々から「是非またやってほしい!」との声あり、企画したKさんたちからも「又考えようかねえ…」とのこと? 楽しみです。
ご来場ありがとうございます! でした!



「趣味の作品展」と「リンゴ販売」

毎年恒例の「趣味の作品展」今年も年内、12月8日(土)9日(日)一丁目集会所において開催いたします。今年もたくさんさんの出品を期待しています。

同じこの日、この場所で毎年ご好評をいただいている、長野産の「高級りんご」の販売を行います。作品展鑑賞と共にお立ち寄り下さい。



特別寄稿（第一回） 白岡人物伝

特別寄稿（第一回）

白岡人物伝

あらい
新井はくせき
白石

白岡市文化財保護審議会委員 板垣 時夫

白岡市は多くの優れた先人を輩出しています。今回から、白岡市ゆかりの偉人を紹介してまいります。一回目は、新白岡駅の西側に位置しています江戸時代「野牛村」の領主でありました新井白石です。

新井白石は江戸時代に活躍した儒学者、政治家、詩人と多才な人物です。白石の父正齊まさなりは久留里藩（千葉県君津市）の藩士、白石は幼少の頃から賢かったので藩主土屋利直の膝下におかれ成長しました。しかし、23歳のときに浪人となり、その後木下順庵に学び、古河藩主堀田正俊に仕えましたが、ここも間もなく辞して、元禄6年（1693）甲府藩徳川綱豊に儒臣として仕えるように

なりました。

宝永6年（1709）に綱豊が六代將軍家宣となると、迎えられ幕府の重臣となり、野牛村と比企郡で五百石を宛がわれました。また、正徳元年（1711）に朝鮮通信使が来朝した折に、

白石が接待役を務め、功績があったとして五百石の加増が行われました。また、かねてから比企郡の領地を野牛村に換えることも許されて、野牛村一村で五百石を知行し、鎌倉郡下の五百石と合わせて、千石の領主となりました。

野牛には、新井白石ゆかりのものとして、白石公肖像画、久伊豆神社奉納扁額、直筆漢詩、郷倉跡、白石様掘などの文化財が大切に受け継がれて

います。

白石公肖像画



この肖像画は新井白石五世の孫新井成美しげよしが観福寺に納めたものです。

写真提供…白岡市教育委員会
所蔵…観福寺

久伊豆神社奉納扁額

野牛久伊豆神社の拜殿に掲げられている扁額「久伊豆社」の文字は朝鮮通信使の製述官であった季礪イヒロシが揮毫したもので、これを白石が領民の鎮守である久伊豆神社に奉納したものです。

新井白石直筆漢詩

直筆の漢詩「贈北客」は野牛村の旧家に伝わるものです。

幼少期から漢詩に親しんで研鑽した白石の足跡をみる事が出来ます。なお、以上の3点は10月に開館した生涯学習センター「こもれびの森」の歴史資料展示室で見ることが出来ます。

郷倉跡と白石公報恩会

郷倉とは天災などに備えて穀物を貯蔵する施設で、村民の生活の安定を図るために白石によって建てられたものです。野牛では終戦まで白石を偲んで命日の5月19日に報恩供養「筑後様祭り」を行いました。報恩会では白石の肖像画を掲げて遺徳を讃えました。今年の5月19日に「復活 筑後様祭り」として、観福寺を中心に催しが行われました。来年も5月中旬に行われますので、是非参加してみてくださいいかがですか。



白岡ニュータウン開発秘話 (第4回)

白岡ニュータウン自治会
自治会だより

2018年秋号

2018年10月1日発行

(年3回発行) 発行・白岡ニュータウン自治会 制作・広報部

30周年関連企画

白岡ニュータウン開発秘話(第4回)

総合地所 所長 藤嶋 進さん

それは自治会設立の年でした。私は旧販売センター(旧ケーキ屋)を目にするとき携帯電話のない時代、赤い電話ボックスに中高生たちが真っ暗になるまで長電話をし、青春を謳歌する姿を見て懐かしかったことを思い出します。

昭和64年1月7日(土)の販売センター、探してきた日の丸を半旗とし、窓のブラインドや照明は半分に、販売員は喪章、それは昭和天皇ご崩御の日でした。

わずか2ヶ月前、2期4次(23棟)分譲も平均倍率14.3倍(最高倍率34倍)で完売し、これで10回連続記録の快挙達成も東の間、22日に迫った自治会創立総会の準備と2月のサ



赤色電話Box

ウスプラザ竣工を控え、コミュニティづくりをどのようにするかの重要課題でピリピリしていました。ご入居は275世帯を数え、お花見や焼肉大会(現在3-33街区)、芝桜販売と

ボーンチャイナ陶器メインの「青空市」リング売りクリスマスバザー等々で手さぐりですが、住民同志の交流が行われていました。しかし地元とは行き違いばかり、当時ヘリコプターによる薬剤散布や稲刈り後の火煙、夜な夜な愕しい鳴き声(牛カエル)はあたり前、ご入居方々からすれば大クレーム続出と計り知れなく、如何ともし難い時代でした。

これらを打破するべく、双方が共に知り会う策として天満神社のカラオケ大会に参加、高岩とのソフトボール大会開催、NTイベントに地元の方を招待、又出店参加を呼び掛け、集まると「飲み会」を画策して融和を図りました。地元の方々と徐々に打ち解けたことは言うまでもありません。その後も高岩・白岡ニュータウン合同盆踊り(現スギ薬局敷地)や白岡ソレソレ踊りに

連を組むなど関係を深めてまいりました。昨今では皆様のご理解とご協力並びに自治会相互の活動が功を奏し、より広域的な友好関係に至っております。実に喜ばしいことと思っております。この頃です。

編集後記

この夏、記録的な猛暑でした。我が家の暑さ対策：登場したアイテムのひとつが扇風機。ニュータウン「夏祭りの福引」で引き当てたものが今年も元気に稼働してくれました。さて、11月に催される「ふるさと祭り」何か良い景品が当たること期待してもいいですか？
笑 (野村)

